

第1回 福岡市環境基本計画(第三次)素案策定作業部会 議事要旨

日時：平成25年8月26日(月) 16:00～18:30

場所：アスロス福岡 606会議室

1 出席者

- (1) 委員
 - 小出 秀雄 (西南学院大学経済学部教授)
 - 古山 通久 (九州大学稲盛フロンティア研究センター教授)
 - 平 由以子 (特定非営利活動法人循環生活研究所理事長)
 - 久留 百合子 ((株) ビスネット代表取締役/消費生活アドバイザー)
 - 藤本 一壽 (九州大学大学院人間環境学研究院教授)
 - 二渡 了 (北九州市立大学大学院国際環境工学研究科教授)
 - 松藤 康司 (福岡大学工学部教授)
 - 松山 倫也 (九州大学大学院農学研究院教授)
- (2) オブザーバ
 - 浅野 直人 (福岡大学法学部教授)
- (3) 事務局
 - 吉村 隆一 (環境政策部長)
 - 浦塚 一郎 (政策経営課長)
 - 原田 桂太 (温暖化対策課長)
 - 久保 祥三 (環境調整課長)
 - 弓削 なおみ (循環型社会計画課長)
 - 調 浩一 (施設課長)
 - 松島 清隆 (エネルギー政策課長)
 - 木下 和彦 (環境政策課長)
 - 中牟田 啓子 (環境保全課長)
 - 北島 保彦 (資源循環推進課長)

2 内容

- (1) 開会
- (2) 議事
 - ① 部会長選出
 - ② 現行計画の検証及び第三次計画の方向性について
 - ③ 市民との対話について
- (3) その他
- (4) 閉会

3 提出資料等

【説明資料】

- ・資料1 浅野先生説明資料（仮）
- ・資料2 現行計画の検証及び現行計画策定後の状況の変化について（仮）
- ・資料3 第三次計画の方向性について（仮）
- ・資料4 市民との対話について（仮）

【参考資料】

- ・参考資料2-1 現行計画における各成果指標の検証結果について（仮）

【その他】

- ・座席表
- ・福岡市環境基本計画（第二次）本編及び概要版
- ・今後のスケジュールについて
- ・福岡市環境基本計画（第三次）素案策定作業部会設置要綱
- ・福岡市環境基本計画（第三次）素案策定作業部会委員名簿
- ・関係例規集

1. 開会

- ・事務局（環境政策部長）より挨拶。
- ・事務局（政策経営課長）より、今後のスケジュールについて説明。
- ・事務局（政策経営課長）より、委員紹介。
- ・事務局（政策経営課長）より、配付資料の確認。

2. 協議

(1) 部会長選出

委員より、藤本委員が部会長として推薦される。

（一同異議なしの声があり、藤本委員が部会長に選任）

藤本部会長より挨拶。

(2) 現行計画の検証及び第三次計画の方向性について

○浅野会長より、資料 1 に基づき、国の動向と福岡市のこれまでの環境基本計画策定の経緯などについて説明。

委員：国の環境基本計画を踏まえながら福岡市の色を出すという理解で良いか。放射性物質対応の検討の意味は何か。福岡市ではどの程度のヒートアイランドとなっているか。

会長：必ずしも国を追いかけるわけではなく、市に必要なものを重視するべきである。放射性物質は、福島復興再生特別措置法で対応することになるが、国の環境基本計画において触れないわけにはいかないことから記載することになった。市内のヒートアイランドは感覚的には 2、3 度程度上昇していると考え。

事務局（温暖化対策課長）：データが不足していたため、測定地点を増やしている。

委員：計画の進行管理として、PDCA が行われていることになっているが、システム化されて実施されているのか。

会長：毎年の環境審議会で報告を受けることになっているが、A（アクション）まで至っていない印象である。

部会長：そのような部分も今回の第三次計画で検討することになる。

○事務局（政策経営課長）より、資料 2、参考資料 2-1、資料 3 に基づき、現行計画の検証及び第三次計画の方向性について説明。

【第 1 節】

委員：まとめ方は今回のものでも分かるが、節ごとにレーダーチャートで示すとより分かりやすいかもしれない。

委員：指標評価から総合評価にあたり、アップはあるがダウンすることはないか。

事務局（政策経営課長）：あくまでも事務局案として示しているものであり、評価を上げるべき

もの、下げるべきものがあれば、ご指摘いただきたい。

委員：例えば、「(8) 福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思う市民の割合」などのように、指標と関連する事業が必ずしも合致していないものがあると感じる。

事務局（政策経営課長）：そのような不具合も含めて、第三次計画では分かりやすいものにしていきたい。

会長：(8) については、これで良いと考える。

事務局（政策経営課長）：例えば、本資料に掲載した事業についても、現状では一部を抜き出して紹介していることから、所管課と相談して掲載すべき事業を整理したい。

部会長：委員からご発言のあったレーダーチャートについては、節ごとにまとめて示す形で検討する。

委員：「(4) 農地面積」、「(5) 森林面積」は、現状維持が目標となっていて、若干落ちている程度であることから、A 評価でも良いのではないか。

会長：特に (5) は A 評価でも良いのではないか。

委員：全国の推移と比較できれば、もう少し客観的に評価できるかもしれない。

部会長：それでは、(5) は A 評価で総合評価を星三つとする。

【第 2 節】

委員：「(10) 市民のマナー評価」は、指標としては達成していないかもしれないが、市のさまざまな取組は評価しており、総合評価は星二つでも良い。

部会長：それでは、(10) は総合評価を星二つとする。

【第 3 節】

会長：「(15) 都心部への公共交通機関利用率」の指標は、2005 年度しかない。10 年に 1 回しか把握できない指標であれば、Z 評価ではないか。取組そのものは評価できるので、総合評価は星二つで良いと考える。

事務局（政策経営課長）：Z 評価という取り扱いも考えられる。

部会長：それでは、(15) は Z 評価で総合評価を星二つとする。

事務局（政策経営課長）：掲載する事業の内容は精査したい。

【第 4 節】

会長：「(24) 市民の省エネ・省資源行動指標」は、別の意識調査では同様の設問で 90% 超となっている。データの整合を図った方が良い。

部会長：市民意識は物理指標ではないので、データの整合は図るとともに、出典を明確にすること。

事務局（政策経営課長）：誤解を与えないように整理したい。

【第5節】

会長：「(26) 家庭部門：世帯あたりの二酸化炭素排出量」～「(28) 運輸（自動車）部門：1台あたりの二酸化炭素排出量」は、庁内の別の会議では2011年度のGHG排出量が報告されていることから、庁内でデータの整合を図り、最新のものとする。

部会長：「(29) 調査対象項目数」は、黄砂やPM2.5の市民ニーズの高まりを受けて、市がどのような対応をしたかを示すこと。

事務局（政策経営課長）：市の対応を示したい。

会長：「(28) 運輸（自動車）部門：1台あたりの二酸化炭素排出量」は、取組の効果というよりも、自動車単体の性能向上の寄与が大きいと考える。総合評価は星二つでも良いのではないかと。

委員：「(30) 法人化した国際協力NGOのうち環境分野に取り組んでいる団体の数」は、どのように調べているか。

事務局（政策経営課長）：総務課の調査結果を用いている。

会長：原票から直接確認した方が良い。

事務局（政策経営課長）：確認したい。

【現行計画策定後の状況の変化】

委員：意識調査について、簡単に分かりやすく示してもらっているが、詳細な結果も示した方が良い。

会長：ここで市政に関する意識調査を用いるならば、現行計画の検証においても整合を図った方が良い。

事務局（政策経営課長）：大きな方向性を簡単に示すことを意図して、材料程度として考えていた。

委員：アンケート調査結果の取り扱い、その内容を示さないと意味をなさないため、注意が必要である。

【第三次計画の方向性について】

会長：安全・安心に関する内容を低炭素や循環型社会と並べることは違和感がある。国の環境基本計画においても、そのような意図から、前提の位置づけで扱っている。

委員：復興庁が「新しい東北」の創造に向けて示している5つの柱が参考になる。

会長：市が最も重要と考えるものを最初の項目にすべきで、大気から始まることも違和感がある。

事務局：環境都市ビジョンで示した5つの軸でまとめるのはいかがか。

会長：適応というキーワードを活かすことで、防災面との接点ができるかもしれない。

委員：市の計画であることから、空間軸と時間軸を明確にした方が良い。例えば、九州電力の

電力排出係数やPM2.5などは、市でどうこうできる問題ではない。

事務局（政策経営課長）：構成については、事務局からの提案ではなく、あくまでもたたき台として示したつもりであるが、本日のご指摘を踏まえて、11月の次回作業部会で改めて示したい。

(3) 市民との対話について

事務局（政策経営課長）より、資料4に基づき、市民対話の対象と概要について説明。

会長：福岡市環境行動賞を受賞している方々が、その後どうなっているか、どのような考え方を持っているかという観点から対象とする意味がある。

委員：学校はどのようなところが受賞しているか。

会長：幼稚園から大学まで受賞している。

委員：環境行動賞とともに、エコ発する事業の補助団体なども対象にしたら良いと考える。

事務局（政策経営課長）：それでは、本日示した内容に基づき進めたい。

3. その他

事務局（政策経営課長）より、今後の予定、日程調整について説明及び依頼。

4. 閉会

事務局（環境政策部長）より挨拶。

〔了〕